

## 庁議の概要

開催日 平成26年8月25日(月)

### ◎項目

- 1 平成26年11月広報計画案について【総務部】
- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

### ◎内容

- 1 平成26年11月広報計画案について【総務部】

総務部より、資料に基づき平成26年11月広報計画案について説明が行われた。

- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

#### ○台風災害対応について

##### (危機管理部)

台風12号・11号災害への対応として、明日第16回の災害対策本部会議を行う。応急対応の取りまとめと復旧や復興に向けた対応方針を、この本部会議で取りまとめたいと考えている。

##### (中山間対策・運輸担当)

農地などの被害の中でシカとかイノシシの防除柵について、柵が土に埋まったとか、ゴミと一緒に手がつけられないとか、川に流れたとかいった声が入っている。詳細はこれからになるが、柵だけの場合は早急に既存の予算で対応したいと考えており、それ以外は被害の状況に応じて市町村とよく連携して、抜かりない対応をしたい。

##### (農業振興部)

営農再開に向けて取り組みをしている。日高村のトマト選果場の関係については、先週関係者が集まり、スケジュールも含めて協議を行った。11月中にはなんとしても再開できるように取り組みをすることを確認した。12月の本格的な出荷までには間に合うように取り組むようにした。国の手続き関係での全面的な協力もあって見通しが立った。

##### (林業振興・環境部)

原木生産の拡大について、台風の関係で作業道レベルでは自力での復旧が始まっている。生産に関わる人達の話では、現場を変えて生産は続けていくということであるが、生産量は少し落ちると思われる。製材は原木をこれまでかなりストックしているので、当面影響は出てこないという状況である。いずれにせよ早く復旧できるように取り組んでいきたい。

(土木部)

台風災害への緊急対応として、現在道路で 29 カ所の交通規制がかかっているのですが、まずこういった応急復旧工事を早急を実施していく。河川系では、再度の災害の防止ということで、調査を行い、その分析、対策の検討をしていくことになる。国、県、市町村が連携して、こういった対策があるかといった検討会も今月末あるいは来月には開催したいと思っている。地すべり対策についても現在観測体制強化をしており、ボーリング調査も進みつつある。関係者と連絡を取りながら応急対策を実施していく予定としている。

### ○日本一の健康長寿県構想推進会議について

(知事)

日本一の健康長寿県構想推進会議のやり方について少し考えていきたい。抽出方式が本当にいいのか、取り組みを始めて 3 年経ち、1 回総点検した方がいいところもあるのではないと思う。目標達成に向けてある意味一里塚（節目）に来ていると思う。1 回総ざらいみたいな検討ができたかどうかと思うので、検討してほしい。

### ○健康食品等の機能性表示について

(商工労働部)

四国地方産業競争力強化戦略の戦略プロジェクトの 1 つである「健康食品等の機能性表示」に関して、新たな機能性表示制度のガイドラインがこれから作られることになっている。6 月に内閣府に政策提言に行っているが、具体的な指針・ガイドラインの作成が始まるので、8 月 29 日に事務レベルで提言をするようにしている。

(知事)

少し大企業向けになるかもしれないところが心配なのか。

(商工労働部)

その通りである。今回の趣旨自体が中小企業が使いやすくというところがある。中小企業は資金的にも人材的にもなかなか難しい、特に高知の場合はハンディがある。今、トクホ（特定保健用食品）の表示許可となると多大なお金と時間がかかるようになっているので、そこをできるだけ利用しやすい制度にというところが今回の趣旨である。